

お知らせ

同時資料提供

山口県政記者クラブ  
山口県政記者会  
山口県政滝町クラブ

平成24年度 風水害対策訓練について  
取材希望の方へ取材対応できる時間、場所のご案内

国土交通省中国地方整備局では、風水害に備えて、防災体制に万全を期するため、災害状況等の迅速かつ正確な収集と伝達及び的確な指揮・対策を行うことを目的とし、災害対策訓練を実施します。

なお、**山口河川国道事務所は甚大災害事務所として**、佐波川の堤防決壊を想定した排水ポンプ車による排水作業、衛星通信車・ヘリコプターによる被災地の画像送信訓練及び中国地方整備局(災害対策本部:以降本部という)から災害対策車の派遣を受けます。

○訓練日時 平成24年5月16日(水) 9:30~15:00

○訓練場所 山口河川国道事務所 別館3階 災害対策室  
(現地)

- ・**防府市上右田地先(佐波川8k付近)堤防決壊 別紙-1**
- ・**山口市阿東篠目地内(国道9号566k580付近)法面崩落**

○訓練内容及び取材対応可能時間、場所(別紙、スケジュール表を参照)

※撮影はすべての時間可能です。また職員による説明とインタビュー等は別紙-1の時間帯を予定しています。

■問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所

副所長(河川) きはら ひとし 木原 均

副所長(管理) まつむら まもる 松村 守

河川管理課長 さかき こうじ 阪木 浩二

道路管理第一課長 ふじはら けん 藤原 健

担当 防災課長 うちだ やすゆき 内田 康之

TEL(0835)22-1795

【広報担当】計画課長 ふじわら いさお 藤原 功

# 風水害対策訓練 スケジュール表

別紙

時間	訓練メニュー	訓練の内容	備考
9:30~9:40	防府市長との情報伝達	雨量データと今後の水位予想により佐波川が氾濫危険水位を超える恐れがあると判断し、事務所長(支部長:以降支部長という)がホットラインを使って防府市長へ連絡を行う。	災対室 実地
9:50~	国道9号 土砂崩れ報告	保守工事の異常時巡回パトロールで、国道9号山口市阿東篠目で土砂崩れを発見した。と巡回員から山口維持出張所(道路維持班:以降道路維持班という)に報告が入り、出張所管理係長(道路維持班連絡係:以降道路維持班連絡係)から支部道路調査班に報告する情報伝達訓練を行う。	災対室 机上
10:30~	佐波川 避難指示	支部長からの連絡を受けた防府市長が、河川氾濫の影響を受けると判断した防府市(上右田地区、下右田地区)に避難指示を行う。	災対室 机上
10:40~	国道9号 土砂崩れによる通行止の記者発表	支部広報班が国道9号山口市阿東篠目で土砂崩れが発生により上下線通行止の記者発表を行う。	災対室 机上
10:50~11:00	防府市長との情報伝達	防府市長から支部長へ、ホットラインを利用して住民の避難が完了した報告を行う。	災対室 実地
11:30~	佐波川 河川堤防決壊	佐波川出張所(水防班:以降水防班という)が佐波川河川堤防決壊を確認し支部に報告を行う。	災対室 机上
12:00~	国道2号 路面冠水による通行止の記者発表	支部河川班からの情報提供により、支部道路第二対策班がCCTVカメラにて現地の路面冠水状況を確認。道路維持班が通行止の措置を講じるのに合わせて、支部広報班が記者発表を行う。	災対室 机上
13:10~13:20	本部とTV会議	支部長が中国地方整備局長(本部長:以降本部長という)へテレビ会議システムを利用して、写真、図面等を双方で確認しながら佐波川破堤状況、浸水状況を報告を行う。 佐波川氾濫の影響により路面冠水した国道2号の状況、復旧方法、規制解除の予定の報告を行う。	災対室 実地
13:25~13:35	国道9号 ku-sat画像送信による報告	支部の要請を受けて本部が派遣したku-satの装置を使用して、出張所長(道路維持班長:以降道路維持班長)が本部に現地の被災状況と復旧方法を、画像を送信しながら報告を行う。	災対室・現地 実地
13:25~13:45	佐波川・国道9号 ヘリテレ画像伝達訓練	本部が派遣した防災ヘリコプターが佐波川右岸側破堤箇所及び国道9号の土砂崩れを確認し、搭乗しているヘリテレ要員が本部へ、現地の画像を配信しながら状況報告を行う。	災対室 実地
14:00~	佐波川 衛星通信車の画像送信	佐波川出張所長(水防班長:以降水防班長という)が本部に衛星通信車、ku-satを利用して、佐波川の堤防決壊状況を現地の画像を交えて状況の報告を行う。合わせて復旧方法、復旧の見込みについても報告を行う。	災対室・現地 実地

青字:河川班 茶字:道路班

- ・支部●●班とは、災害対策計画書により職員が各班に配属されその班の役割を担っています。
- ・訓練中の撮影については、制限がありませんが、外部との情報伝達訓練中の取材はできません。
- ・詳細については別紙-1を参照して下さい。
- ・実地訓練:実際に機器等を活用し訓練を実施するもの
- ・机上訓練:状況を想定し情報伝達訓練のみ実施するもの

### 現地訓練、災害対策機械の概要について

13:00 山口河川国道事務所

総務課に集合していただければ、計画課長が報道関係者の皆さまを災害対策室までご案内し訓練の概要をご説明します。また、事務所玄関には災害対策室の案内図が貼ってありますのでご利用下さい。

#### ●事務所災害対策室での訓練

13:10 本部とのテレビ会議

テレビ会議システムを利用して支部長が本部への報告を行います。佐波川の決壊についての報告とその対応について説明を行います。  
※本部との情報伝達訓練中の事務所長への取材はできません。

テレビ会議終了後、13:40までの間事務所長等への取材が可能です。

13:40 事務所を出発し、佐波川決壊想定現場へ向かいます。

現地の駐車可能な場所まで、先導車にて報道関係者の皆さまをご案内します。

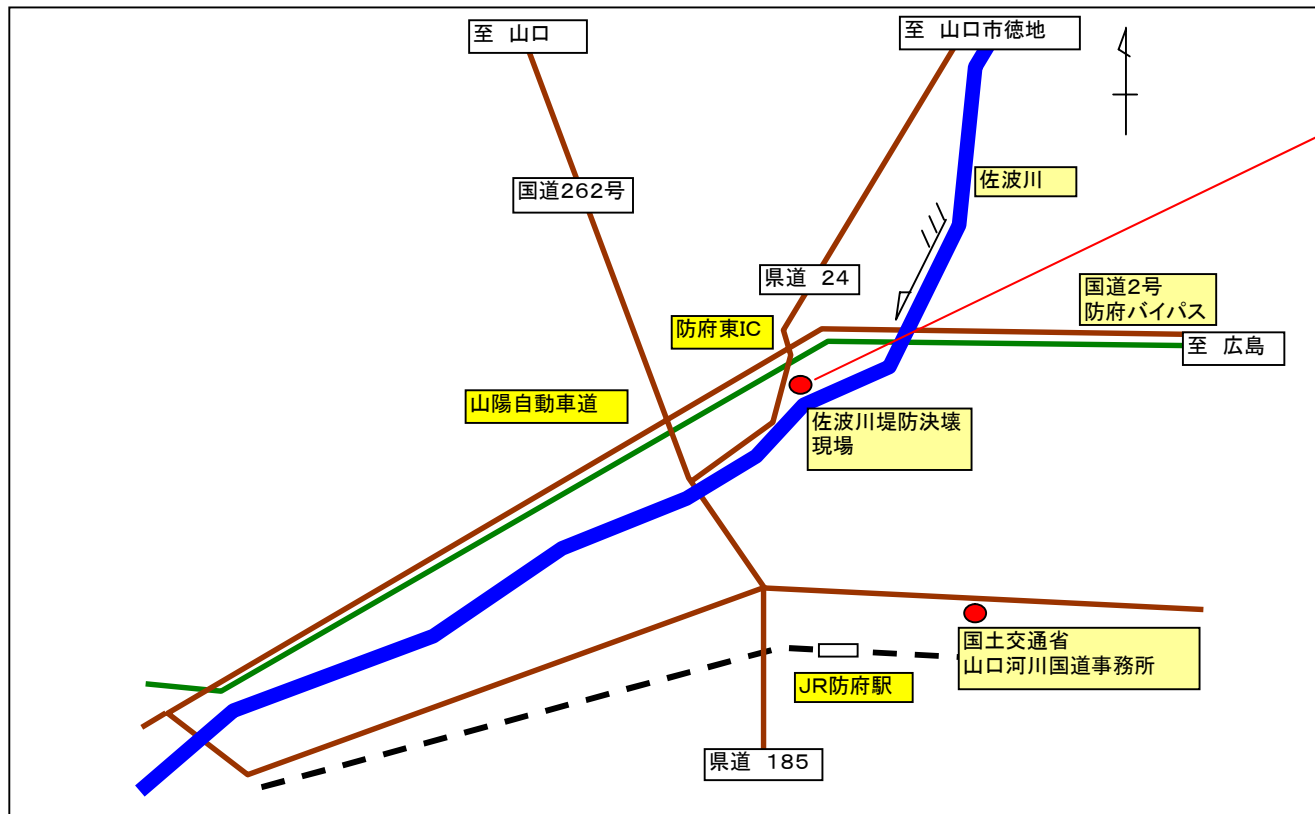
#### ●現地での実地訓練

14:00 佐波川堤防決壊現場からの情報伝達訓練

水防班長が、佐波川決壊状況を現地の画像を送信しながら、本部へ報告します。現地に配備している車両は、排水ポンプ車、衛星通信車、対策本部車、待機支援車です。

※報道関係者の皆さまに、河川管理課長が訓練の内容についてご説明します。

佐波川決壊想定 位置図



※訓練中の撮影については、制限がありませんが、外部との情報伝達訓練中の取材はできません。

対策本部車



被災現場付近で、仮設の災害対策本部として活用する車両です。今回の訓練では、本部より現地指揮者が来て情報収集訓練を行います。

待機支援車

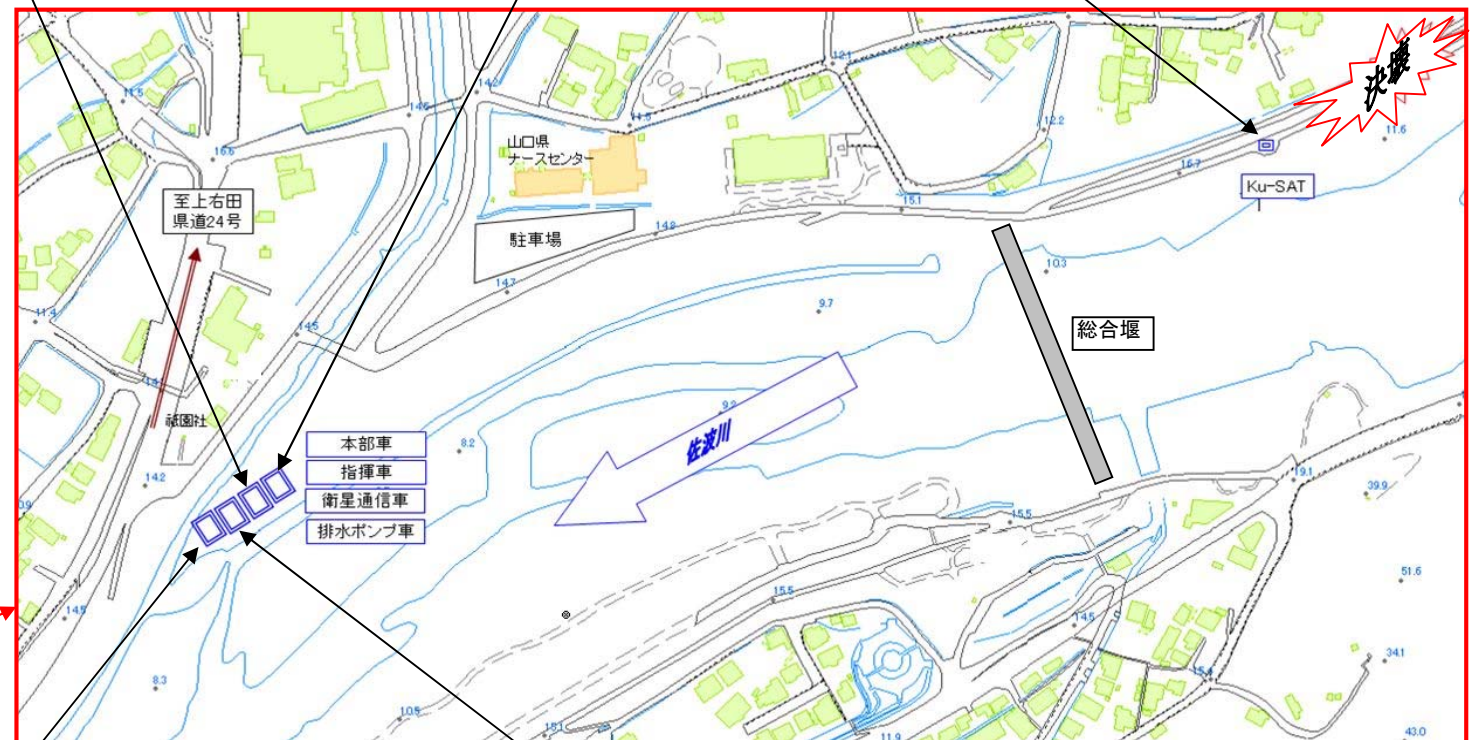


災害復旧の応援として、現地に職員を派遣する場合に指揮室、簡易宿泊場所として使用します。今回の訓練では車両の派遣のみとなっています。

ku-sat



運搬、組立が容易なため災害発生時の初期段階で画像を送信するために使います。今回の訓練では決壊箇所の画像と音声を送信します。



排水ポンプ車



河川の増水により浸水した地域の水をくみ上げて下流に排水します。今回の訓練では、ポンプ運転作業を実施します。

衛星通信車



大規模な災害が発生した現場に派遣し、現地の画像を本部に送信します。電話回線も装備しているので現場からの報告も可能です。今回の訓練では、佐波川の決壊の画像送信と電話による状況報告を行います。

ヘリコプタ



あおぞら号 (関東地整所有)  
現地の画像を本部に送信します。今回の訓練では、佐波川の決壊・国道9号の土砂崩れの画像送信を行います。

## ●災害対策機械

### 対策本部車



拡幅式の車体を採用し、広々とした室内空間を確保できる災害対策本部車です。現場の最前線基地として会議室、各種無線・通信・情報収集機器のほか、トイレや簡易キッチンも備えています。

### 排水ポンプ車



大雨や洪水で河川から溢れ出した水を、搭載したポンプで排出する車両です。

### 待機支援車



災害復旧に携わる人々の休憩場所や、長期にわたる作業や救助活動の簡易宿泊施設及び指揮室などとしての後方支援的な役割を果たしています。

### ku-sat



準動画像を送信出来る装置。小型軽量の組立式により、パトロールカー等のライトバンでも運搬可能で、約15分で設営可能です。

## (参考)

### 衛星通信車



災害が発生した場合に、現地での通信確保及び情報収集を行うことを目的として、車両に衛星通信設備、電源等を搭載し、日本国内のほぼ全域で通信を確保することが可能です。

### ヘリコプタ

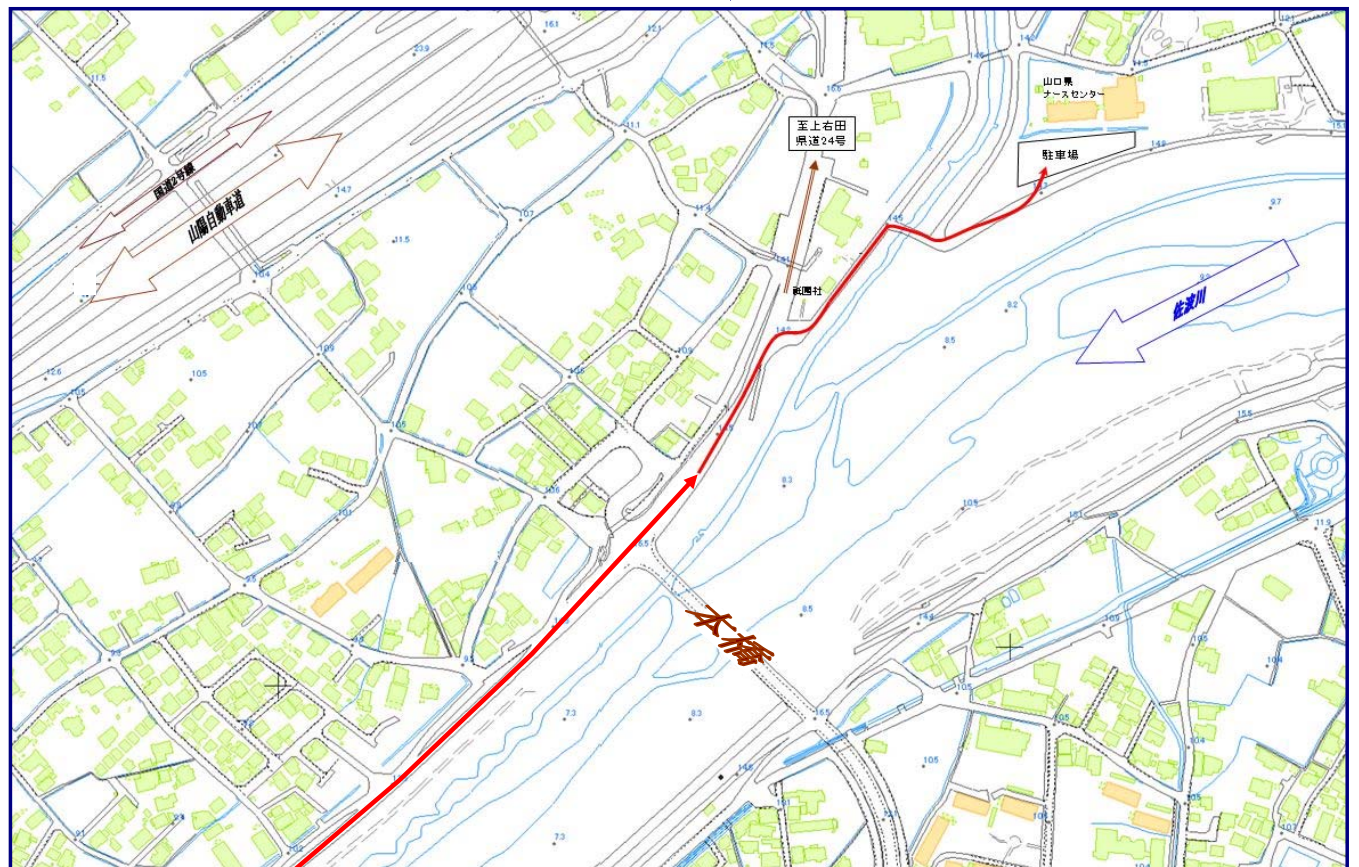
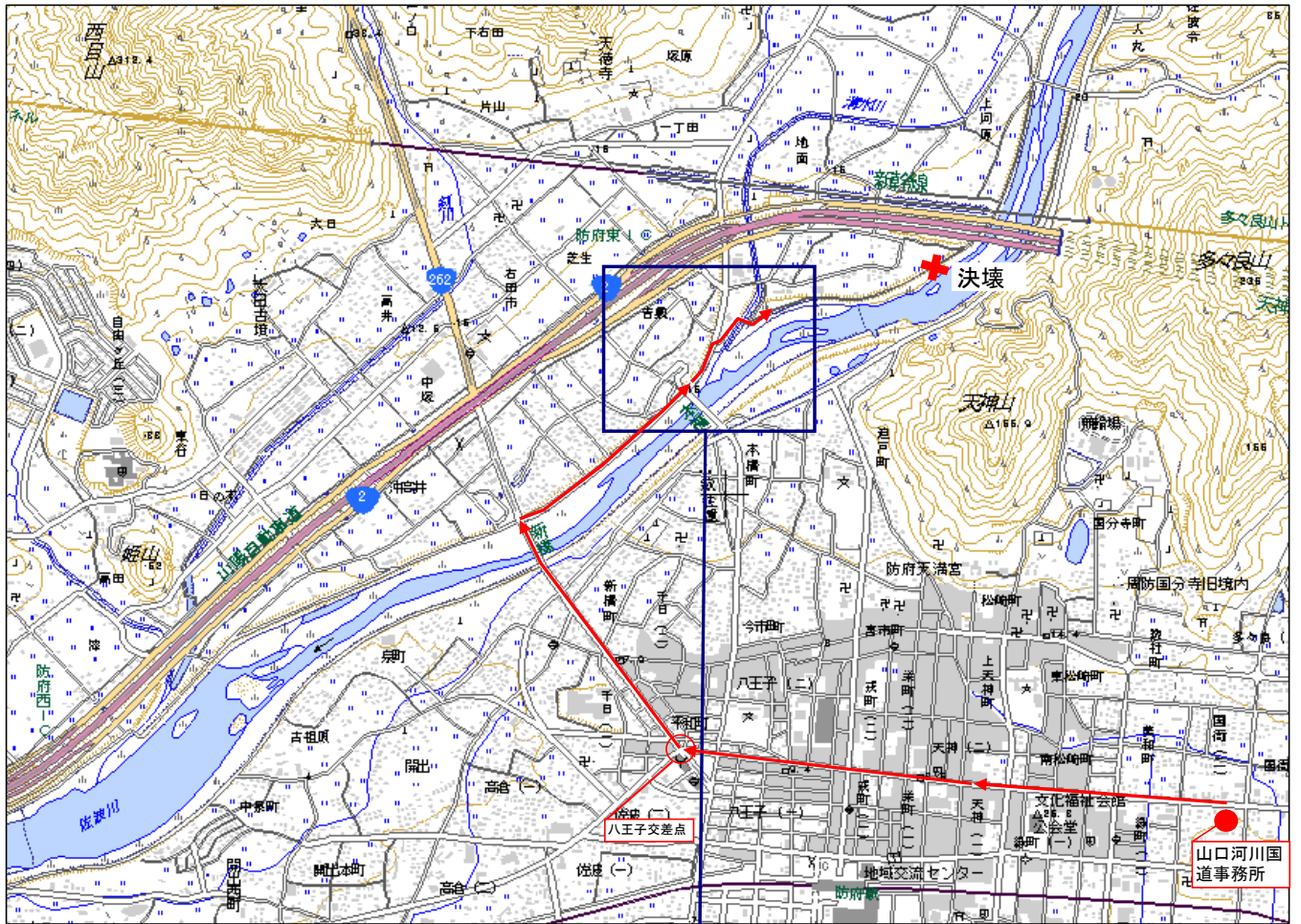


あおぞら号 (関東地整所有)

ヘリコプタ画像伝送システムは、ヘリコプタに搭載したテレビカメラで撮影した災害現場等の画像を本省や地方整備局へリアルタイムで伝送することができます。

# 佐波川決壊現場 駐車場案内図

参考



※駐車場には台数に限りがありますので、満車の場合はご容赦願います。